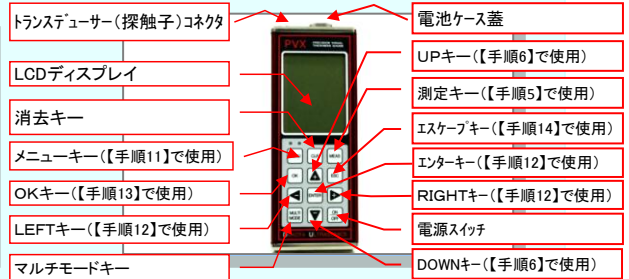
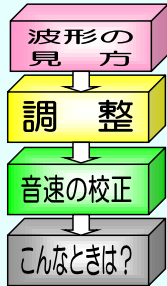


PVX (I-Eモード)

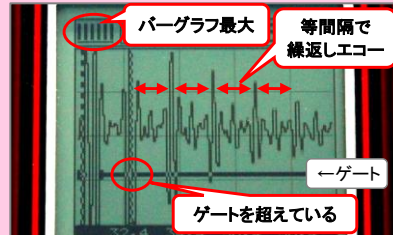
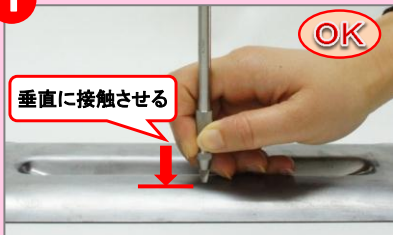
製品案内 超音波厚さ計 簡易取扱説明書

1 概要



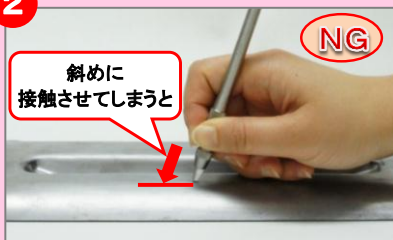
2 波形の見方(RF波形)

1



測定物に接触媒質(カプラント)を少量塗布し、トランスデューサーを垂直に接触させる。
【OK波形】
「バーグラフが最大」「等間隔で繰返しエコーが表示」「底面エコーがゲートを越えている」

2



トランスデューサーを斜めに接触させてしまった場合
【NG波形】
「バーグラフが最小」「底面エコーがゲートを越えていない」

3



トランスデューサーを斜めに接触させてしまった場合
【NG波形】
「繰返しエコーが出ていない」

PVX (I-Eモード)

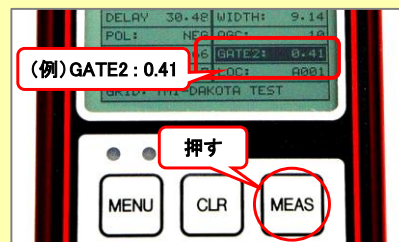
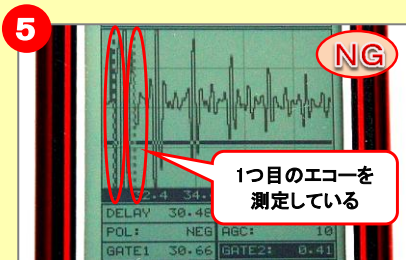
製品案内 超音波厚さ計 簡易取扱説明書

3 調整 (ゲート・AGC・THR)

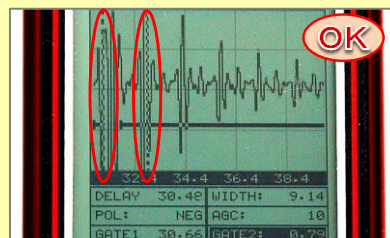
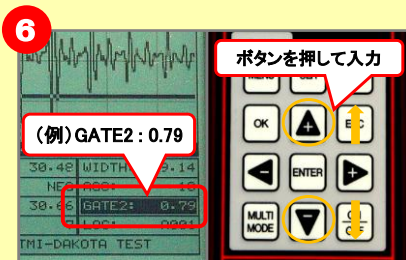
ゲート2の調整



測定物に接触媒質(カプラント)を少量塗布し、トランスデューサーを垂直に接触させる。
【NG測定:1】
1つ目のエコーと3つ目のエコーを測定している。
※2倍の厚みが表示されてしまう。



【NG測定:2】
ゲート1・ゲート2ともに、1つ目のエコーを測定している。※薄い厚みが表示されてしまう。
1つ目のエコーと2つ目のエコーを測定していない場合は、GATE2を調整する。
「MEAS」キーを押して【GATE2】を選択する。



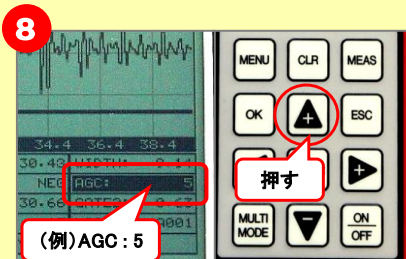
「▲・▼」キーで数値を入力する。
【OK測定】
等間隔に表示された1つ目のエコーと2つ目のエコーを測定している。

AGC(ゲイン)の調整



底面エコーがゲートを超えていない場合、ゲインを調整する。
または、ゲートの高さ(THR)を調整する。

「MEAS」キーを押して【AGC】を選択する。



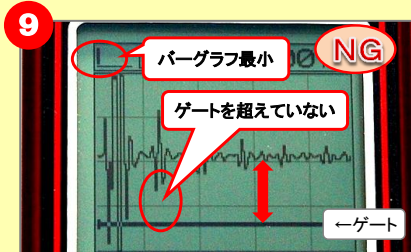
「▲」キーでAGC(ゲイン)の数値を上げる。

PVX (I-Eモード)

製品案内 超音波厚さ計 簡易取扱説明書

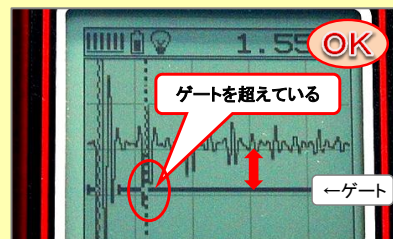
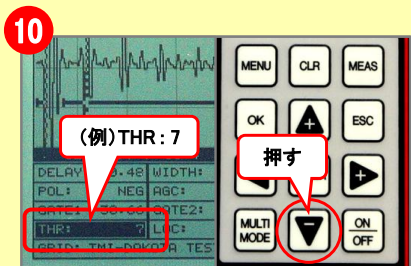
3 調整 (ゲート・AGC・THR)

THR(ゲートの高さ)の調整



底面エコーがゲートを越えていない場合ゲートの高さ(閾値)を調整する。

「MEAS」キーを押して【THR】を選択する。



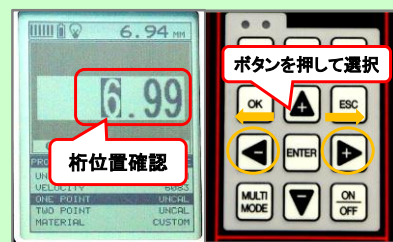
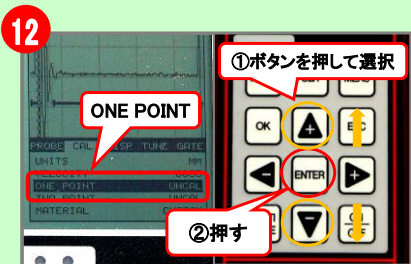
「▼」キーでTHR(閾値)の数値を下げる。

4 音速の校正 ※正しいエコーを計測しているにもかかわらず、表示される厚みがおかしい場合は校正を行ってください。

1点校正

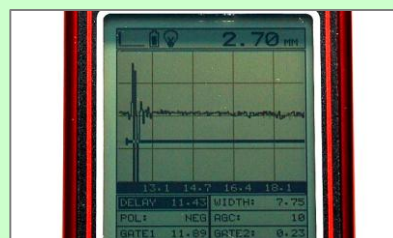
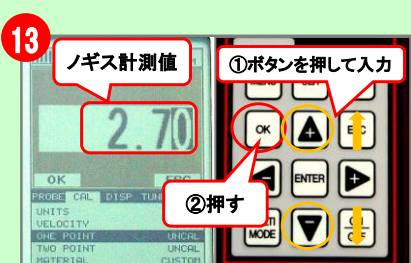


測定物と同じ材質のサンプルの厚さをノギス等で計測する。校正を行う場所にトランスデューサーを接触させ、厚みを表示させる。「MENU」キーを何度か押し、【CAL】を選択する。



①「▲・▼」キーで「ONE POINT」を選択し、②「ENTER」キーを押す。

「◀▶」キーで桁位置を選択・確認する。



①「▲・▼」キーでノギス等で計測した数値を入力し、②「OK」キーを押して確定する。

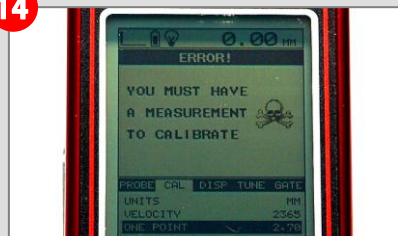
PVX (I-Eモード)

製品案内 超音波厚さ計 簡易取扱説明書

5 こんなときは？

エラー表示が出た場合

14

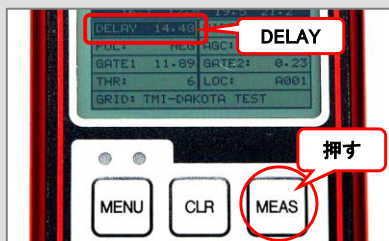
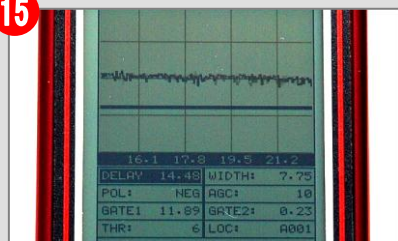


厚みを表示していない状態で、音速の校正を行うと、エラー画面が表示される。

「OK」キーもしくは「ESC」キーを押す。元の画面に戻る。再度校正を行う。

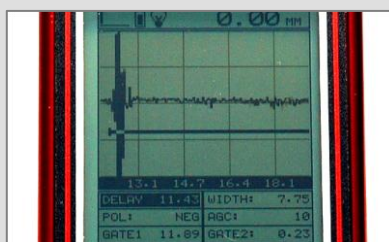
画面上にエコー画像が表示されなくなった場合

15



「MEAS」キーを押して【DELAY】を選択する。

16



①「▲・▼」キーで【DELAY】の値を調整し、②「OK」キーを押して確定する。

※【GATE1】に設定されている値より少し小さい値を入力して下さい。